



島根県の中山間地域に若者をよぶ取組を大学間連携で PR 追手門学院大と島根大でオンラインインターン

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）と島根大学（島根県松江市、学長：服部泰直）は、5月15日に発表したオンラインインターンシップの一環として、中山間地域の島根県雲南市に若者をよぶ取組のPRを考えるプログラムをスタートさせました。

この取り組みはコロナ禍の中、オンラインの強みを生かしてお互い距離の離れた大学が連携し、地域特有の取組を学生の視点から情報発信しようと、追手門学院大学、島根大学、雲南市の受け入れ先となる一般社団法人 Community Careers（島根県雲南市、代表：山下実里）の三者でプログラムをまとめました。

プログラムはオンラインで行われ、両大学から5人ずつ参加してペアを組み課題に取り組みます。「大学の枠を越え、仲間とともに若者が地域でチャレンジする価値をプロデュースせよ」のテーマの下、①雲南市で行われている地域づくりの取組を調査し、②どの取組をどのようにアピールするかを検討し、③オンラインでの取材を通じて記事をまとめ、④ペアごとに成果発表を行って優勝者を決めます。

学生たちは8月17日にキックオフミーティングを行い、毎週月曜日に進捗報告を兼ねた定例ミーティングを経て、10月23日の審査会で発表を行います。

本学としては大学の垣根を越え、違う価値観の学生たちが未知のフィールドの課題に取り組むことを通じて、協働性やチャレンジ精神を育むことを目指しています。

【ポイント】

- 追手門学院大学と島根大学によるオンラインインターンシップがスタート
- 両大学の学生ペアが島根県雲南市の取組をアピールする記事を、オンラインでまとめる
- 2大学が連携し、インターン先も遠隔地というオンラインインターンならではの新たな取組

【定例の予定】

- 8月17日（月）キックオフミーティング
- 8月24日（月）定例会
- 8月31日（月）定例会
- 9月7日（月）定例会
- 10月23日（金）審査会

学生たちは定例会以外にそれぞれのペアで調査・準備を行う。



プログラムチラシ